

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (01-02)

団体名	(特非)神戸の冬を支える会	代表者名	理事長 森山 一弘
事業名	様々な困難を抱えた方の日常生活支援事業		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般(スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
4月～2月 (随時)	姫路事務所	290 (255)	各支援対象者に対する支援計画の策定(スタッフミーティング)と必要に応じて関係機関との協議の実施
4月～2月 (随時)	姫路事務所	95 (280)	各支援対象者への支援計画の点検と見直しの実施
4月～2月 (随時)	対象者自宅等	344 (350)	金銭管理、食料品の貸付及び提供などの実施
4月～2月 (随時)	姫路事務所	322 (350)	訪問・見守り活動の実施、相談活動の実施

<効果と成果>

- ① 金銭等管理事業 44人
- ② 食料品の貸し付け・提供事業 300人 (実人員73人)
- ③ 訪問・見守り活動 84件
- ④ 相談事業 新規相談者数 238人 (他の助成金・委託事業が対象としている方を除く)

(1) 認知能力の低下や金銭管理ができず生活費を浪費をしてしまう方について金銭管理契約を締結して、家賃や公共料金の支払の支援、生活費の管理、行政機関への必要な手続きなどの支援を行い、住居喪失や各種滞納を防ぐことができた。一方、これだけの取組で根本的な解決が図れるわけではなく、渡した金銭をすぐに飲酒やギャンブルに消費するという方もおられ、より重層的なサポートの構築が求められる。

(2) 生活費が足りなくなり次の収入(生活保護費の支給、年金、給与等)までの間の食糧支援(現物立替、提供)により、当面の生活を維持することを支援することができた。

(3) 生活状況に不安がある方には適宜自宅訪問などで見守り、生活状況の確認、必要な支援の提供を行うことができた。健康状態が悪化し自宅で倒れている方を発見し救急要請して一命をとりとめた事案もあった。

(4) 刑事施設釈放者に対する支援依頼は、弁護士、保護観察所、更生保護施設、検察庁などから多数寄せられ、多くの方の釈放後の住居確保、生活再建の支援を行うことができた。取り組みを通じた連携強化が実感できる状況となっている。

<今後の展望>

生活上の困難が社会的なものであり、様々な支援を組み合わせる中で社会的に解決していくという視点を持っていくことが重要なので、連携の強化を更に進めていきたい。

また、刑事施設釈放者の社会復帰支援への理解、ギャンブル依存症、薬物依存症、アルコール依存症などの方への社会理解を進めていくことが重要である。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
自己資金	1,214,339
合計	1,714,339

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経費	人件費	1,653,181	438,842
	交通費	24,600	24,600
	通信費	17,348	17,348
	その他(事務用品、燃料費等)	19,210	19,210
	小 計	1,714,339	500,000
間接経費(一般管理費)		0	0
合 計		1,714,339	500,000